

部品番号：WEB2090

名称：LOCTITE EA3463

安全データシート
Safety Data Sheet (SDS)

商品の販売元：

住友建機販売株式会社

住所： 〒141-6025

東京都品川区大崎二丁目 1 番 1 号(ThinkPark Tower)

担当部門：カスタマーサポート部 部品グループ

電話： 050-9001-6447

FAX： 03-6866-5112



安全データシート

Page 1 of 12

LOCTITE EA 3463 known as METAL MAGIC STEEL 113.4G

SDS No. : 153766

V001.4

ヘンケルジャパン株式会社

改訂: 06.02.2023

発行日: 08.08.2023

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 366935
製品名 : LOCTITE EA 3463 known as METAL MAGIC STEEL 113.4G
推奨される用途 : エポキシ樹脂
会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1800

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分
皮膚刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激	区分 2
急性	
皮膚感作性	区分 1
水生環境有害性 短期（急性）	区分 3
水生環境有害性 長期（慢性）	区分 3

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:	H315 皮膚刺激。 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 H319 強い眼刺激。 H412 長期継続的影響により水生生物に有害。
安全対策	P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。
応急措置:	P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。 P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物: 混合物

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
タルク	>= 40 - < 50 %
ホウ珪酸ナトリウムガラス粉末	>= 30 - < 40 %
ビスフェノール A ジグリシジルエーテル	>= 10 - < 20 %
ポリエーテルポリメルカプタン	>= 10 - < 20 %

4. 応急処置

皮膚にかかった場合:	直ちに多量の水で（可能であれば石けんと）洗うこと 汚染された衣類や靴を脱ぐこと 発症したり症状が持続する場合、医師の診察を受けること。 再使用する場合には洗濯をすること 再利用の前に靴をよく洗浄する事。
眼に入った場合:	直ちに多量の水で最低でも15分間眼を洗うこと。 発症したり症状が持続する場合、医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合:	無理に吐かせないこと 意識の無い場合口から何も与えてはならない 医師の診察を受けること

吸入した場合： 空気の新鮮な場所へ移動させること
呼吸が困難な場合、酸素を与えること。
呼吸をしていない場合は、人工呼吸をする
発症したり症状が持続する場合、医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤： 水スプレー（霧）、泡、粉末消火剤または二酸化炭素。

火災時の特有の危険有害性： 炭素酸化物
硫黄酸化物
ハロゲン化化合物
金属酸化物ヒューム

消火活動を行うものの特別な保護具及び予防措置： 自給式呼吸器および出勤服の様な全身保護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

環境に対する注意事項 製品が下水または排水溝に入らないようにすること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材： 十分な換気を保つこと。
適切な個人用保護具を着用すること。
除去作業を行う時は、第8項の暴露防止及び保護措置を参照すること。
漏えい物はすくい取り、廃棄のために容器に密閉しておくこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
安全取扱い注意事項 眼、皮膚、衣服に付着しないようにすること。蒸気やミストを吸入しないこと。
使用後はよく洗うこと。
十分に吸引すること。
容器は密閉しておくこと

保管：
安全な保管条件： 涼しく、良く換気のされた場所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

日本産業衛生学会

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリ/備考	Regulatory list

タルク [滑石,吸入性粉塵]		0.5	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL
タルク [滑石,総粉塵]		2	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL
ホウ珪酸ナトリウムガラス粉末 [ガラス長繊維 グラスウール]			時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL
ホウ珪酸ナトリウムガラス粉末 [ガラス微細繊維]				規制には含まれているが、 データ値はない。詳細は規 制を参照のこと。	JPISOH OEL

管理濃度
参考

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
タルク		2	時間加重平均 (TWA) :	この値はアスベストを含ま ず結晶質シリカが<1%の粒 子状物質に対する値であ る。	ACGIH
ホウ珪酸ナトリウムガラス粉末		5	時間加重平均 (TWA) :		ACGIH

設備対策: しっかりした換気／排気を確保すること。

保護具:

呼吸用保護具: 十分な換気を保つこと。
十分に換気ができない場合は適切な呼吸マスク

手の保護具: 適切な保護手袋

眼の保護具: 安全ゴーグルまたは側板付き安全眼鏡

皮膚及び身体の保護具: 耐薬品性で、手袋とエプロンかボディースーツのどちらかを含む不浸透
性衣類を着用し、皮膚接触を防止する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态 : 固体 色 : 金属の, 黒
pH : 該当なし, 混合物は非極性/ 臭い: メルカプタン, 硫黄
融点 : < 0 ° C (< 32 ° F)

沸点 :	非プロトン性です。 > 35 ° C (> 95 ° F) 390 ° C (734 ° F)	密度 :	2. 25 g/cm3
蒸気密度 :	該当なし、製品は固形である。	蒸気圧 :	データ無し/対象外
引火点 :	> 93. 3 ° C (> 199. 94 ° F)		
爆発範囲（下限） :	該当なし	爆発範囲（上限） :	該当なし
水への溶解度 :	データ無し/対象外	粘度 :	データ無し/対象外
自然発火点 :	データ無し/対象外	可燃性 :	データ無し/対象外
オクタノール/水分分配係数 :	データ無し/対象外	分解温度 :	データ無し/対象外
粒子特性 :	データ無し/対象外		

10. 安定性及び反応性

安定性 :

反応性 : 何も確認されていない。

避けるべき条件 : 熱、点火源および不適合物質に近づけないこと。
直射日光を避けること。

危険有害な分解生成物 : 炭素酸化物
硫黄酸化物
ハロゲン化化合物
金属酸化物ヒューム

11. 有害性情報

一般毒性情報 : 動物実験検査データなし。

11.1. 毒物学的影響情報

急性毒性（経口） :

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
タルク	LD50	> 5,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 423 (Acute Oral toxicity)
ホウ珪酸ナトリウムガラス粉末	LD50	> 5,000 mg/kg	ラット	指定されていません
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	LD50	> 2,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 420 (Acute Oral Toxicity)
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	LD 50	1,980 mg/kg	ウサギ	
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	LD 50	15,600 mg/kg	マウス	
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	LD 50	> 1,000 mg/kg	ラット	
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	LD 50	> 500 mg/kg	マウス	
ポリエーテルポリメルカプタン	LD50	2,600 mg/kg	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)

急性毒性（経皮）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
タルク	LD50	> 2,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	LD50	> 2,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	LD 50	20 mg/kg	ウサギ	
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	LD 50	> 1,600 mg/kg	ラット	
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	LD 50	> 800 mg/kg	マウス	
ポリエーテルポリメルカプタン	LD50	> 10,200 mg/kg	ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)

急性毒性（吸入）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	試験環境	ばく露時間	種	試験方法
タルク	LC50	> 2.1 mg/l	粉じん及びミスト	4 h	ラット	OECD Guideline 403 (Acute Inhalation Toxicity)

皮膚腐食性／刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
タルク	slightly irritating	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	moderately irritating	24 h	ウサギ	Draize test
ポリエーテルポリメルカプタン	刺激性なし	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
タルク	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	slightly irritating		ウサギ	Draize test
ポリエーテルポリメルカプタン	刺激性なし		ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)

呼吸器又は皮膚感作性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	テストタイプ	種	試験方法
タルク	not sensitising	Guinea pig maximisation test	モルモット	OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
ポリエーテルポリメルカブタン	Sub-Category 1B (sensitising)	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)

生殖細胞変異原性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目／管理経路	代謝活性化／ばく露時間	種	試験方法
タルク	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		equivalent or similar to OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
タルク	陰性	in vitro mammalian cell transformation assay	without		equivalent or similar to OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		EU Method B.13/14 (Mutagenicity)
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	negative with metabolic activation	mammalian cell gene mutation assay	有無		指定されていません

発がん性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

成分	結果	ばく露経路	ばく露時間 / 処置頻度	種	性別	試験方法
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	not carcinogenic	oral: gavage	24 m daily	ラット	male/female	OECD Guideline 453 (Combined Chronic Toxicity / Carcinogenicity Studies)
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	not carcinogenic	皮膚	2 y 3 times/w	マウス	male	OECD Guideline 453 (Combined Chronic Toxicity / Carcinogenicity Studies)

生殖毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	テストタイプ	ばく露経路	種	試験方法
タルク	NOAEL P > 900 mg/kg NOAEL F1 > 900 mg/kg	two-generation study	oral: gavage	ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 416 (Two-Generation Reproduction Toxicity Study)
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	NOAEL P >= 50 mg/kg NOAEL F1 >= 750 mg/kg NOAEL F2 >= 750 mg/kg	2世代試験	oral: gavage	ラット	OECD Guideline 416 (Two-Generation Reproduction Toxicity Study)

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	ばく露経路	ばく露時間／処理頻度	種	試験方法
タルク	NOAEL 100 mg/kg	oral: feed	101 d 7 d/w	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 452 (Chronic Toxicity Studies)
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	NOAEL 50 mg/kg	oral: gavage	14 w daily	ラット	OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity in Rodents)
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	NOAEL 100 mg/kg	dermal	13 w 3 times/w	マウス	OECD Guideline 411 (Subchronic Dermal Toxicity: 90-Day Study)

誤えん有害性：

データなし

12. 環境影響情報

一般環境有害性情報:

下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。
水生生物に有害である。
水生環境に長期の可逆効果をもたらす恐れがある。

12.1. 生態毒性

毒性（魚）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
タルク	LC50	Toxicity > Water solubility	96 h	Brachydanio rerio (new name: Danio rerio)	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
ホウ珪酸ナトリウムガラス粉末	LC50	> 1,000 mg/l	96 h	指定されていません	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	LC50	1.2 mg/l	96 h	Oncorhynchus mykiss	EPA-660 (Methods for Acute Toxicity Tests with Fish, Macroinvertebrates and Amphibians)
ポリエーテルポリメルカプタン	LC50	87 mg/l	96 h	Danio rerio	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)

毒性（ミジンコ）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ホウ珪酸ナトリウムガラス粉末	EC50	> 1,000 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	EC50	2.7 mg/l	48 h	Daphnia magna	other guideline:
ポリエーテルポリメルカプタン	EC50	12 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)

水生無脊椎動物に対する慢性毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	NOEC	0.3 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)
ポリエーテルポリメルカプタン	NOEC	3.5 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)

毒性（藻類）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ホウ珪酸ナトリウムガラス粉末	EC50	> 1,000 mg/l	72 h	指定されていません	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	EC50	> 11 mg/l	72 h	Scenedesmus capricornutum	other guideline:
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	NOEC	4.2 mg/l	72 h	Scenedesmus capricornutum	other guideline:
ポリエーテルポリメルカプタン	EC50	> 733 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
ポリエーテルポリメルカプタン	NOEC	338 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)

微生物に対する毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ホウ珪酸ナトリウムガラス粉末	EC0	> 1,000 mg/l		指定されていません	指定されていません
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	IC50	> 100 mg/l	3 h	activated sludge, industrial	other guideline:
ポリエーテルポリメルカプタン	EC50	> 1,000 mg/l	3 h	activated sludge of a predominantly domestic sewage	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)

12.2. 残留性と分解性

有害物質	結果	テストタイプ	分解性	ばく露時間	試験方法
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	not inherently biodegradable	指定されていません	12 %	28 d	OECD Guideline 302 B (Inherent biodegradability: Zahn-Wellens/EMPA Test)
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	容易に生分解されていません。	aerobic	5 %	28 d	OECD Guideline 301 F (Ready Biodegradability: Manometric Respirometry Test)
ポリエーテルポリメルカプタン	容易に生分解されていません。	aerobic	5 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)

12.3. 生態蓄積性

データなし

12.4. 土壌中の移動性

ヘンケルジャパン株式会社

有害物質	LogPow	温度	試験方法
タルク	-9.4	25 ° C	QSAR (Quantitative Structure Activity Relationship)
ビスフェノールAジグリシジルエーテル	> 2.64 - 3.78	25 ° C	OECD Guideline 117 (Partition Coefficient (n-octanol / water), HPLC Method)

12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

12.6. 他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:
危険物には該当しない。

Air transport IATA:
危険物には該当しない。

国内輸送規制:

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。
海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法:

変異原性が認められた既存化学物質

ビスフェノール A ジグリシジルエーテル

消防法

指定可燃物

毒物及び劇物取締法:

該当しない

PRTR 法:

該当しない

16. その他の情報

発行日:

08.08.2023

注意:

この安全性データシートは日本工業規格（JIS: Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

お客様各位、

ヘンケルは、バリューチェーン全体に沿ったさまざまな機会を促進することにより、持続可能な未来を築くことをお約束します。

SDSを紙から電子版に切り替えて受け取りたい場合は、最寄りのカスタマーサービスにお問い合わせください。

個人用ではない電子メールアドレス（例：SDS @ your_company.com）を使用することをお勧めします。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。